

2 貯蓄の種類別内訳

(1) 定期性預貯金と「生命保険など」が減少、通貨性預貯金と有価証券が増加

二人以上の世帯について1世帯当たり貯蓄現在高を貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が707万円(貯蓄現在高に占める割合41.1%)と最も多く、次いで「生命保険など」が412万円(同24.0%)、通貨性預貯金が292万円(同17.0%)、有価証券が269万円(同15.6%)、金融機関外が40万円(同2.3%)となっている。

このうち勤労者世帯についてみると、定期性預貯金が471万円(同37.1%)と最も多く、次いで「生命保険など」が356万円(同28.1%)、通貨性預貯金が232万円(同18.3%)、有価証券が154万円(同12.1%)、金融機関外が56万円(同4.4%)となっており、二人以上の世帯と同様の順になっている。

平成14年以降の推移を現在高及び構成比で見ると、二人以上の世帯及び勤労者世帯共に、貯蓄現在高が多い定期性預貯金及び「生命保険など」では共に減少傾向が続く一方、通貨性預貯金及び有価証券では共に増加傾向が続いている(図2、表2)。

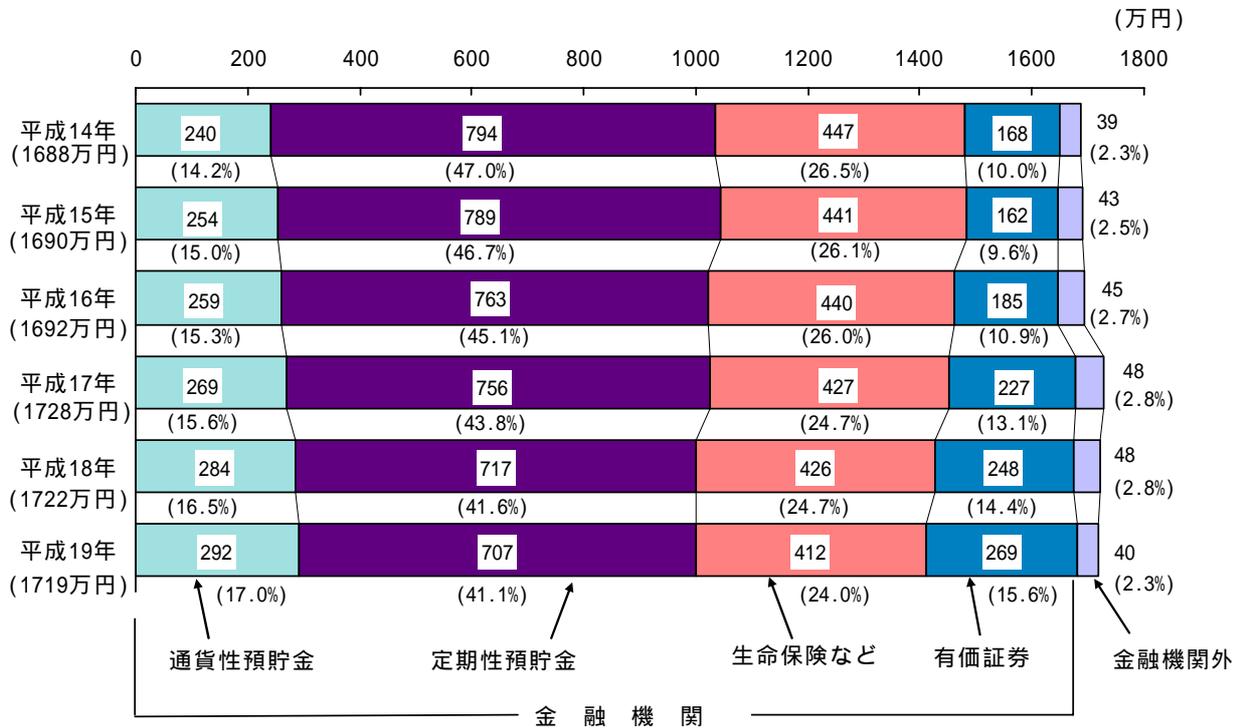
表2 貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移

項目	二人以上の世帯																	
	平成14年		平成15年			平成16年			平成17年			平成18年			平成19年			
	金額 (万円)	構成比 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)													
貯蓄現在高	1688	100.0	1690	100.0	0.1	1692	100.0	0.1	1728	100.0	2.1	1722	100.0	-0.3	1719	100.0	-0.2	
金融機関	1649	97.7	1646	97.4	-0.2	1647	97.3	0.1	1680	97.2	2.0	1675	97.3	-0.3	1679	97.7	0.2	
通貨性預貯金	240	14.2	254	15.0	5.8	259	15.3	2.0	269	15.6	3.9	284	16.5	5.6	292	17.0	2.8	
普通銀行等	178	10.5	189	11.2	6.2	194	11.5	2.6	199	11.5	2.6	210	12.2	5.5	216	12.6	2.9	
郵便貯金銀行	62	3.7	66	3.9	6.5	65	3.8	-1.5	71	4.1	9.2	73	4.2	2.8	76	4.4	4.1	
定期性預貯金	794	47.0	789	46.7	-0.6	763	45.1	-3.3	756	43.8	-0.9	717	41.6	-5.2	707	41.1	-1.4	
普通銀行等	480	28.4	486	28.8	1.3	473	28.0	-2.7	480	27.8	1.5	459	26.7	-4.4	467	27.2	1.7	
郵便貯金銀行	314	18.6	303	17.9	-3.5	290	17.1	-4.3	275	15.9	-5.2	258	15.0	-6.2	240	14.0	-7.0	
生命保険など	447	26.5	441	26.1	-1.3	440	26.0	-0.2	427	24.7	-3.0	426	24.7	-0.2	412	24.0	-3.3	
有価証券	168	10.0	162	9.6	-3.6	185	10.9	14.2	227	13.1	22.7	248	14.4	9.3	269	15.6	8.5	
株式・株式投資信託	102	6.0	97	5.7	-4.9	120	7.1	23.7	142	8.2	18.3	166	9.6	16.9	182	10.6	9.6	
貸付信託・金銭信託	22	1.3	19	1.1	-13.6	16	0.9	-15.8	20	1.2	25.0	15	0.9	-25.0	14	0.8	-6.7	
債券・公社債投資信託	45	2.7	46	2.7	2.2	48	2.8	4.3	65	3.8	35.4	67	3.9	3.1	73	4.2	9.0	
金融機関外	39	2.3	43	2.5	10.3	45	2.7	4.7	48	2.8	6.7	48	2.8	0.0	40	2.3	-16.7	

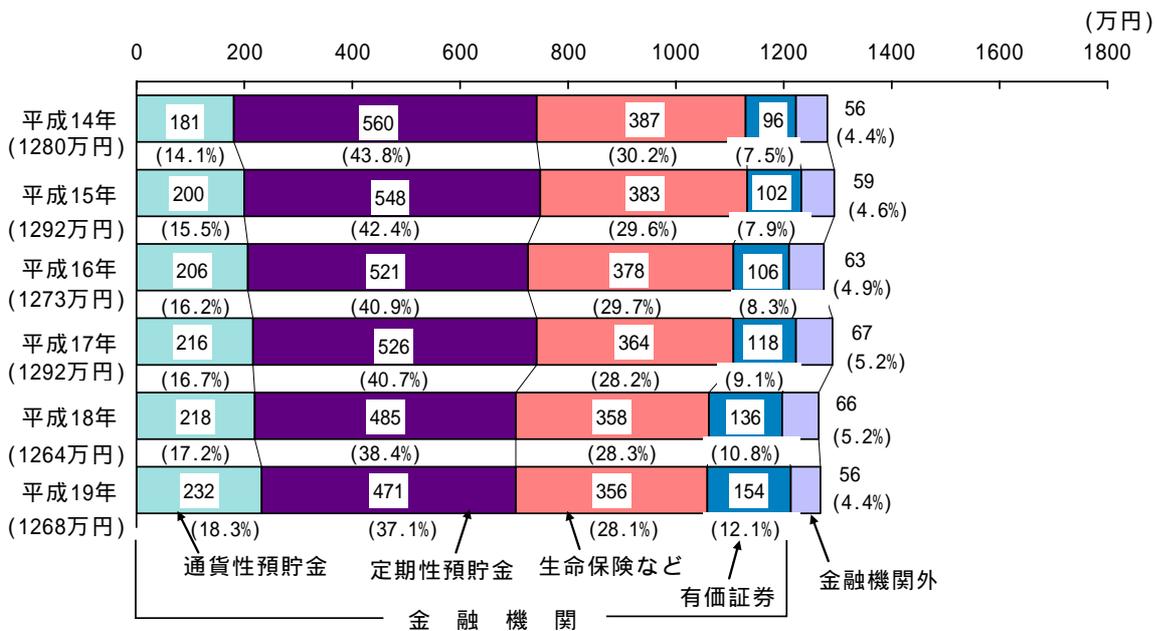
項目	うち勤労者世帯																	
	平成14年		平成15年			平成16年			平成17年			平成18年			平成19年			
	金額 (万円)	構成比 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)													
貯蓄現在高	1280	100.0	1292	100.0	0.9	1273	100.0	-1.5	1292	100.0	1.5	1264	100.0	-2.2	1268	100.0	0.3	
金融機関	1224	95.6	1233	95.4	0.7	1210	95.1	-1.9	1225	94.8	1.2	1198	94.8	-2.2	1212	95.6	1.2	
通貨性預貯金	181	14.1	200	15.5	10.5	206	16.2	3.0	216	16.7	4.9	218	17.2	0.9	232	18.3	6.4	
普通銀行等	135	10.5	150	11.6	11.1	157	12.3	4.7	162	12.5	3.2	165	13.1	1.9	174	13.7	5.5	
郵便貯金銀行	46	3.6	50	3.9	8.7	49	3.8	-2.0	55	4.3	12.2	53	4.2	-3.6	58	4.6	9.4	
定期性預貯金	560	43.8	548	42.4	-2.1	521	40.9	-4.9	526	40.7	1.0	485	38.4	-7.8	471	37.1	-2.9	
普通銀行等	323	25.2	325	25.2	0.6	309	24.3	-4.9	322	24.9	4.2	294	23.3	-8.7	298	23.5	1.4	
郵便貯金銀行	236	18.4	223	17.3	-5.5	212	16.7	-4.9	204	15.8	-3.8	191	15.1	-6.4	173	13.6	-9.4	
生命保険など	387	30.2	383	29.6	-1.0	378	29.7	-1.3	364	28.2	-3.7	358	28.3	-1.6	356	28.1	-0.6	
有価証券	96	7.5	102	7.9	6.3	106	8.3	3.9	118	9.1	11.3	136	10.8	15.3	154	12.1	13.2	
株式・株式投資信託	61	4.8	62	4.8	1.6	70	5.5	12.9	72	5.6	2.9	92	7.3	27.8	104	8.2	13.0	
貸付信託・金銭信託	13	1.0	12	0.9	-7.7	10	0.8	-16.7	11	0.9	10.0	10	0.8	-9.1	9	0.7	-10.0	
債券・公社債投資信託	22	1.7	28	2.2	27.3	25	2.0	-10.7	36	2.8	44.0	34	2.7	-5.6	41	3.2	20.6	
金融機関外	56	4.4	59	4.6	5.4	63	4.9	6.8	67	5.2	6.3	66	5.2	-1.5	56	4.4	-15.2	

図2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比

(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) ()内は、貯蓄現在高に占める割合

(2) 貯蓄現在高が多い世帯ほど通貨性預貯金の割合が低い

二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別に貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が少なくなるに従っておおむね通貨性預貯金の割合が高くなり、貯蓄現在高が多くなるに従っておおむね定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなる傾向がみられる（表3、図3）。

表3 貯蓄現在高階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高（二人以上の世帯） - 平成19年 -

項目	平均	200万円未満	200万円以上 ~ 400万円未満	400 ~ 600	600 ~ 800	800 ~ 1000	1000 ~ 1200	1200 ~ 1600	1600 ~ 2000	2000 ~ 3000	3000万円以上
金額（万円）											
年間収入	649	494	542	606	615	672	678	695	672	674	824
貯蓄現在高	1719	72	291	492	691	891	1089	1386	1776	2450	5479
金融機関	1679	70	281	475	669	861	1053	1342	1722	2391	5377
通貨性預貯金	292	35	94	130	166	193	238	253	325	399	791
定期性預貯金	707	18	93	175	249	326	415	560	719	1129	2270
生命保険など	412	16	86	157	221	301	329	423	503	599	1110
有価証券	269	1	8	14	34	41	71	106	174	264	1204
金融機関外	40	2	10	16	22	29	36	45	54	60	102
構成比（%）											
貯蓄現在高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金融機関	97.7	97.2	96.6	96.5	96.8	96.6	96.7	96.8	97.0	97.6	98.1
通貨性預貯金	17.0	48.6	32.3	26.4	24.0	21.7	21.9	18.3	18.3	16.3	14.4
定期性預貯金	41.1	25.0	32.0	35.6	36.0	36.6	38.1	40.4	40.5	46.1	41.4
生命保険など	24.0	22.2	29.6	31.9	32.0	33.8	30.2	30.5	28.3	24.4	20.3
有価証券	15.6	1.4	2.7	2.8	4.9	4.6	6.5	7.6	9.8	10.8	22.0
金融機関外	2.3	2.8	3.4	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2	3.0	2.4	1.9
構成比の対前年変化幅（ポイント）											
貯蓄現在高											
金融機関	0.4	0.0	-0.7	-0.7	0.3	0.7	-0.3	0.7	0.5	0.8	0.3
通貨性預貯金	0.5	2.1	1.0	0.5	3.3	0.0	1.9	1.7	0.5	0.5	0.0
定期性預貯金	-0.5	-0.4	0.0	2.0	-0.6	2.3	-0.6	0.2	-1.0	1.3	-1.4
生命保険など	-0.7	-3.2	-1.7	-2.7	-2.7	-0.9	-1.9	-2.2	-0.6	-1.1	-0.4
有価証券	1.2	0.0	0.0	-0.2	0.4	-0.7	0.4	0.9	1.4	0.1	2.2
金融機関外	-0.5	0.0	0.7	0.5	-0.4	-0.9	0.3	-0.7	-0.5	-0.9	-0.3

図3 貯蓄現在高階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比（二人以上の世帯） - 平成19年 -

